

平成30年度後期高齢者医療保険料について

後期高齢者医療制度の対象となる人（被保険者）

○75歳以上の人全員
○65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、後期高齢者医療広域連合の認定を受けた人
※生活保護を受けている人は除きます。

保険料の決まり方

後期高齢者医療の保険料は、被保険者一人ひとりに納めていただきます。

保険料率は、2年ごとに直し、鳥取県内で均一ですが、今回の見直しでは、変更はありません。（平成30・31年度）

所得割額

（総所得金額等—33万円）
× 所得割率 8・07%

均等割額

42,480円

平成30年度の保険料計算における変更点

① 賦課限度額の変更

後期高齢者医療保険料の1人あたりの年額保険料の限度額は62万円です。（29年度は57万円）

② 所得割額の軽減措置の廃止

所得割額を負担する人のうち、基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の人は、所得割額が一律2割軽減されていましたが、この軽減措置はありません。

③ 被扶養者であった人の均等割軽減割合の変更

後期高齢者医療制度に加入する前日に健康保険組合や共済組合などの被扶養者であった人は、均等割額が5割軽減

（29年度は7割軽減）され、所得割額はかかりません。

④ 均等割額の軽減対象の拡大

世帯の所得に応じて軽減される均等割の5割軽減と2割軽減の対象が拡大されます。

軽減割合	世帯（被保険者および世帯主）の総所得金額等	軽減後均等割額
9割	【基礎控除額（33万円）を超えない世帯のうち、被保険者全員が年金収入80万円以下（その他各種所得がない）】の世帯	4,248円
8.5割	【基礎控除額（33万円）】を超えない世帯のうち、9割軽減に該当しない世帯	6,372円
5割	【基礎控除額（33万円）＋27万5千円（29年度は27万円）×世帯の被保険者数】を超えない世帯	21,240円
2割	【基礎控除額（33万円）＋50万円（29年度は49万円）×世帯の被保険者数】を超えない世帯	33,984円

入院時食事代の標準負担額が変わります

入院したときの食事代は、医療費とは別に、1食あたりの標準負担額を自己負担します。

平成30年4月から、所得区分が現役並み所得者と一般の人は、入院時食事代の標準負担額（1食あたり）が460円になります。

愛犬のための

狂犬病予防注射



🐾 狂犬病とは…

動物に咬まれた傷口から狂犬病ウイルスが侵入し、約3ヶ月の潜伏期間を経て狂犬病を発症します。現在でも治療方法がないため、ほぼ100%死に至る人獣共通感染症です。

どんな動物もこのウイルスを持つていますが、とくに身近な犬から感染する恐れがあるとして、飼犬については市町村への登録と、予防注射を行うように法律で義務付けられています。

もしも犬に咬まれたら、鳥取市保健所生活安全課（☎0857-20-3676）へ必ず届け出をしてください。飼い主が届け出を出さない状況であれば、被害者が届け出てくださいます。

🐾 町への登録

生後90日を経過した飼い犬は必ず町に登録してください。死亡した場合も届け出が必要です。

登録料 3,000円
福祉課の窓口に届け出ていただくか、鳥取県東部地区の各動物病院で登録の届出をしてください。

🐾 狂犬病予防注射

生後90日以上の子犬が年に一度受ける注射です。注射をした際は、福祉課の窓口で注射済票の交付申請を行うか、鳥取県東部地区の各動物病院で注射済票の交付を受けてください。

予防注射料 2,500円
注射済票交付料 550円

🐾 狂犬病予防注射の日程

本町では左表のとおり、集合予防注射を行います。すでに本町に登録済みの飼い主には通知をしますので、同封の申請書と問診票をご記入の上、持参してください。

実施日	時間	会場
4月10日 (火)	午前10時 ～10時20分	土師地区 公民館
	午前9時30分 ～9時50分	那岐地区 公民館
4月13日 (金)	午前9時30分 ～9時50分	山郷地区 公民館
	午前10時10分 ～10時30分	山形地区 公民館
	午前10時50分 ～11時	芦津部落 事務所
4月26日 (木)	午前10時 ～10時50分	総合 センター
	午前9時30分 ～9時50分	富沢地区 公民館
6月3日 (日)	午前9時20分 ～9時45分	総合 センター

🐾 おねがい

会場で犬同士のけんかや他の飼い主への咬みつきなどの事故が起これないよう、首輪や口輪等をきちんとつけ、犬をしつかりコントロールできる人が連れてきてください。万が一事故が起これた場合には、当事者同士の責任で対処してください。

1ヶ月以内に他のワクチン注射をした場合、あるいは妊娠中や授乳中、発情中、その他病気や体調不良などの異常が認められる場合には、その場での注射ができません。かかりつけの動物病院に相談して後日注射してください。

健康な犬でも数万頭に1頭の割合で、ワクチンによる痛みやショック死などの副反応が生じる場合があります。副反応が生じても各会場では応急処置のみで、完全な治療はできないことをご了承ください。了承いただけない場合は、動物病院での注射をお勧めします。